

クロアチア情勢

主な出来事

2015年4月

内政

- 1日、家庭用ガス料金の引き下げ開始。1立方メートルあたり0.20～0.30クーナ値下げされる。
- 2日、政府は、ドゥブロブニク空港拡張プロジェクト(2億2000万ユーロ相当)へのEU基金からの資金調達につき閣議決定。同プロジェクトは、EU基金から1億4500万ユーロ支援され、残りの7500万ユーロをドゥブロブニク空港側が確保することとなる。右拡張工事は本年5月から開始され、2019年に完成予定。
- 6日、憲法裁判所は、ザグレブ県裁判所の決定を破棄し、捜査拘留中のバンディッチ・ザグレブ市長の釈放を決定。翌7日、同市長はレメティネツ刑務所から出所。その後13日、ザグレブ県裁判所は、同市長が市長職を継続することを認める旨判決した。
- 7日、大統領府において国防会議実施。グラバル＝キタロビッチ大統領(クロアチア軍最高司令官)およびミラノビッチ首相の他、コトロマノビッチ国防相、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相、ラロバツ財務相らも出席。クロアチア軍の装備の充実および近代化の実施、国防費の段階的な引き上げ等の必要性につき協議された。
- 8日、議会において「国際ロマの日」記念式典実施。グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相らが出席。
- 8日、憲法裁判所は、公共部門非中核業務のアウトソーシングの禁止を問う国民投票の質問内容は違憲とし、同国民投票の実施を認めない判決を下す。(但し、政府は右判決前に、既に本計画を断念している。)
- 13日、スプリト(当国南部)において、クロアチア連邦国(1944年5月樹立、旧ユーゴ構成共和国であるクロアチア社会主義共和国の前身)政府結成(1945年4月14日、於:スプリト)70周年の記念式典開催。ミラノビッチ首相の特使としてオストイッチ副首相兼内務相が出席。
- 14－16日および21－22日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、各政党党首(14日:カラマルコ・クロアチア民主同盟(HDZ)党首(野党第1党)、15日:フレリヤ年金者党(HSU)党首(与党第3党)、布林・スラボニア＝バラニャ・クロアチア民主連盟(HDSSB)党首(野党第2党)、チャチツ人民党－リフォーミスト党首(野党)、16日:ミレティッチ・イストラ民主会議(IDS)党首(与党第4党)、フルグ農民党(HSS)党首(野党)、テペシュ・アンテ・スタルチェビッチ権利党(HSPAS)党首(野党)、21日:プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相(人民党(HNS)党首)、スタニミロビッチ独立民主セルビア党(SDSS)党首、シュカレ＝オジュボルト民主センター(DC)党首、ケルム・ク

ロアチア市民党(HGS)党首、ホジッチ・ボスニア民主党(BDSH)党首兼クロアチア議会マイノリティ会派議長、22日:ホリーORaH(クロアチアの持続可能な発展党)党首、ユルチッチ・「ニュー・ウェーブ」党首)を大統領府に招き、個別協議を実施。なお、与党第1党のミラノビッチSDP党首(首相)は、グラバル＝キタロビッチ大統領の本件招請を拒絶。

●20日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、就任後初めてブコバルを公式訪問。ブコバルの「祖国防衛戦争」戦没者墓地、オブチャラの戦没者慰霊センター等を訪問。

●21日、憲法裁判所は、政府による高速道路経営権のコンセッション方式による売却の賛否を問う国民投票の質問内容は違憲とし、同国民投票の実施を認めない判決を下す。(但し、政府は右判決前に、既に本計画を断念している。)

●22日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ヤセノバツ強制収容所跡の慰霊碑を訪問。

●22－24日、スプリト(当国南部)において、第3回「防衛装備品見本市(Adriatic Sea Defense and Aerospace Exhibition)」開催。

●24日、クロアチア議会は、先月辞任したズラタル＝ビオリッチ前文化相(HNS所属)の後任として、同省大臣代行を務めていたベリスラブ・シプシュ文化省次官(HNS所属)の大臣就任を賛成多数で承認。

●25日、フリージャーナリストのサシャ・レコビッチが、クロアチア・ジャーナリスト協会(HND)新会長に選任(任期4年)。

●26日、ヤセノバツ強制収容所解放70周年記念・献花式典を開催。クロアチア政府要人(ミラノビッチ首相、レコ議会議長、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相他)、カトリック、セルビア正教会、ユダヤ教、イスラム教各団体、外交団、元収容者、犠牲者遺族他が参列。

●28日、シェクス議会議員(HDZ所属、元議会議長)が、グラバル＝キタロビッチ大統領の憲法問題担当特別顧問に就任するため議会議員を辞任。

外交

●1日、旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)から一時釈放されているシェシェリ・セルビア急進党(SRS:極右政党)党首がベオグラードにおいてクロアチア国旗を焼き討ちした事件で、クロアチア外務・欧州問題省は当地駐在セルビア大使館臨時代理大使に対し抗議文を送付。ベオグラードに駐在しているマルコティッチ駐セルビア・クロアチア大使を協議のため一時召還する旨発表。7日、同大使はベオグラードへ帰還。

●1日、グラバル＝キタロビッチ大統領はハンガリーのバトン湖近郊を非公式訪問し、アデル・ハンガリー大統領とワーキング・ディナーを実施。二国間関係、EU・NATO枠組における協力等につき意見交換。

●2日、クロアチアおよびセルビア政府高官は、1日に発生したクロアチア国旗焼き討ち事件を巡って、両国間関係の修復に向けた取組を実施。グラバル＝キタロビッチ大統領およびニコリッチ・セルビア大統領は文書を交換し、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相およびダチッチ・セルビア外相は電話で本件事件への対応につき協議した。

●2日、第2回「クロアチア・ベラルーシ・ビジネスフォーラム」をバラジュディン（当国北部）において開催。（第1回は2014年にベラルーシで開催。）

●8日、グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長およびプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のサチ・コソボ第一副首相兼外相とそれぞれ会談。プシッチ外務・欧州問題相およびサチ外相は、二国間の欧州パートナーシップ協定（EPA）に署名した。

●13日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、EU・地中海南岸諸国非公式閣僚級会合出席のためバルセロナを訪問。

●14日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国を公式訪問したプレヴネリエフ・ブルガリア大統領と会談。またプレヴネリエフ大統領は、ミラノビッチ首相、レコ議会議長とも意見交換した。翌15日、「クロアチア・ブルガリア経済フォーラム」が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領およびプレヴネリエフ・ブルガリア大統領が出席。

●15日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相はサラエボを訪問し、ツルナダク・ボスニア・ヘルツェゴビナ（BH）外相とBH新政権発足（本年3月末）後、初の二国間外相会談を実施。また、ズビズディッチBH閣僚評議会議長（首相）、BH大統領評議会メンバー（イバニッチ大統領評議会議長およびイゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー）およびBH議会両院議長らとも意見交換。

●15日、レコ議会議長は、当国訪問中のズゴネア・ルーマニア下院議長と会談。両国共通の目標として、南東欧および東欧地域諸国のEU・NATO加盟を支援する旨確認。ズゴネア下院議長は、グラバル＝キタロビッチ大統領、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相とも意見交換。

●17日、グラバル＝キタロビッチ大統領、フィッシャー・オーストリア大統領、パホル・スロベニア大統領は、スロベニアにおいて第2回非公式3か国首脳会談を実施。（第1回同会談は2014年3月にウィーンにて開催。）

●17日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のステイリアニディス欧州委員（人道支援・危機対応担当）と会談。自然災害時の人道支援の重要性につき意見交換。ステイリアニディス欧州委員は、昨年5月に発生した洪水で大きな被害をうけたグーニャ（当国東部）を訪問。

●20－21日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、EU外務理事会出席のためルクセンブルクを訪問。同理事会の開催に先立ち、クロアチアは「フレンズ・オブ・ボスニア」朝食会を主催し、約20か国のEU加盟国外相、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表、ハーン欧州委員（欧州近隣政策・拡大交渉担当）およびBHからイバニッチBH大統領評議会議長、ツルナダクBH外相が参加。

●20－21日、レコ議会議長は、EU加盟国の議会議長のための年次会合出席のためローマを訪問。

●21日、コトロマノビッチ国防相は、当国訪問中のペンデシュBH国防相と会談。クロアチアはBHの領土一体性を全面的に支持するとし、両国は地域の安定と安全を確保する責任を有する重要な隣国であることを確認。

●22日、コトロマノビッチ国防相は、スプリトで開催された「防衛装備品見本市」に出席したグルヴァーチ・スロバキア国防相と会談。防衛産業、軍事訓練、近代化プロセス等における両国間協力について意見交換。

- 23日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびミラノビッチ首相は、当国を公式訪問したマツタレッツァ大統領と会談。地中海における不法移民問題に対処する必要性、および右に関する新たな人道危機を生まない努力を行う必要性につき確認した。
- 23日、ミラノビッチ首相は、地中海における移民の流入問題に関する臨時欧州理事会に出席のため、ブリュッセルを訪問。
- 23日、クプレシヤク外務・欧州問題省次官補は、スロベニアで開催された「ブルドー・ブリュニ・プロセス」外相会合に出席。
- 24日、欧州委員会は、ブコバルの水供給・下水処理システム・プロジェクトに対し、欧州結束基金から3400万ユーロを支援する旨決定。（プロジェクト全体費用は4820万ユーロ相当）
- 27－30日、ビオグラード・ナ・モル市（当国南部）において、地雷除去活動に関する「第12回国際シンポジウム・機器展示：地雷行動2015」開催。
- 28日、ラロバツツ財務相がサラエボを訪問し、ベバンダBH副首相兼財務相と会談。ミリチェビッチBH連邦副首相兼財務相も同席。
- 29－30日、グラバル＝キタロビッチ大統領はブリュッセルを公式訪問し、ストルテンベルグNA TO事務総長、トゥスク欧州理事会議長およびユンカー欧州委員長と会談。
- 30日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のシュタインマイヤー独外相と二国間会談を実施。またグラバル＝キタロビッチ大統領およびミラノビッチ首相もそれぞれ会談した。

経済

- 1日、INAの経営諮問会議（supervisory board）は6名の執行役員（management board）全員の再任を決定。その任期を1年（2015年4月1日から2016年3月31日）とした。
- 2日、クロアチア観光省は2014年の観光収入を発表した。昨年の観光収入は74億ユーロで対前年比2.8%増となった。これは昨年のGDPの17.2%に相当。
- 2日、クロアチア政府は国際復興開発銀行（IBRD）とクロアチア国鉄（HZ）効率化プロジェクトへの融資について合意した。同政府は同社子会社であるHZインフラストラクチャー、HZ貨物輸送、HZ乗客輸送がIBRDより各7,900万ユーロ、4,150万ユーロ、4,300万ユーロの融資を受けることに同意した。
- 20日、クロアチア統計局は2014年の一般政府債務残高および財政赤字を発表した。昨年の一般政府債務残高は2,795億クーナで対GDP比85%、財政赤字は188億クーナで対GDP比5.7%と、2013年（一般政府債務残高は対GDP比80.6%、財政赤字は同5.4%）より悪化した。
- 21日、クロアチア国内市場における主要なタバコ銘柄が1箱あたり1クーナ値上がりした。これは16日にクロアチア政府が決定した歳入増に向けたタバコおよび燃料（ガソリンおよびディーゼル）に関する物品税増に基づくもの。

主要経済指標

(2015年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (2月)	輸入総額 (2月)	貿易赤字 (2月)	工業生産高 (3月)	インフレ率 (3月)	失業率(登録制) (3月)
+5.8% (123億クーナ, 16.0億ユーロ)	+2.1% (197億クーナ, 25.7億ユーロ)	-3.4% (74億クーナ, 9.7億ユーロ)	+3.5% (2月:1.9%)	0.1% (2月:-0.4%)	19.7% (2月:20.3%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。